

謹賀新年



多古町議会議長

勝又 一徳

あけましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、輝かしい新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

さて、世界規模で猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症との戦いも、3年が過ぎました。未だ終息には至りませんが、徐々に明るい兆しが見えてきているとともに、人口減少や持続可能社会へのシフトと合わせて、これを機に、私たちは新たな生活スタイルへの転換を迫られています。あらゆる分野におけるデジタル化の波もそのひとつと言えるでしょう。国としても、デジタル田園都市国家構想を掲げており、私たち地方自治体においても、町



多古町長

平山 富子

あけましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、輝かしい新年を迎えられましたこととお慶び申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症は未だ収束の気配が無く、生活に大きな影響を及ぼし続けております。そのような中でも、旧常磐小学校のグラウンド施設へのリニューアル、あじさい公園一帯の再整備（複合遊具の設置、駐車場などの改修）、さらに道の駅多古第2駐車場用地に新たに地域経済活性化拠点の建設を計画しております。今後、皆様の生命をお守りすることを第一に感染予防策を行いつながりつつ経済を支える施策も同時に実施し、着実に地域経済の振興を図ってまいります。

民の皆様のご理解のもと、安心・安全、そして便利な生活を実現するためにさまざまな事業に取り組んでいかなくてはなりません。

このような国全体の動きの中において、足元に目を向けてみますと、令和6年度中に開通が予定される圏央道の大栄・横芝間。また、7年後には現在進められている成田空港の更なる機能強化が実現のものとなり、第3滑走路の運用が開始されることと予定されています。加えて、開港45周年を迎える成田空港はターミナルや貨物地区の刷新を含む「新しい空港構想」の議論が始まるなど、町を取り巻く環境は、まさに劇的に変わろうとしています。この機会をチャンスとしてつかみ取り、町の発展のため最大限に生かさなければなりません。

町議会としては、町の発展が町民の皆様幸せにつながるという考えのもと、議員全員が一丸となって、まい進する所存です。

結びに、多古町と皆様にとって幸多き一年となりますようご祈念申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

この先多古町には大きな変化が待っており、成田空港の更なる機能強化や、2024年度末には圏央道大栄・横芝間の開通といった大きな事業が予定されています。その経済効果を最大限活用し、企業が立地しやすい環境整備を道路網の整備と一体的に取り組み、町の発展につなげてまいります。また、空港の機能強化により移転される皆様に寄り添い、NAAに協力してまいります。

そして、教育はまちづくりの根幹です。小・中学校すべての児童生徒にタブレット端末を導入したほか、全普通教室・特別教室に電子黒板を設置し、ICT教育推進の環境整備に努めてまいりました。次代を担う子どもたちの主体的な学びを今後もしっかりと支えてまいります。

これからのさまざまな施策を進めるに当たりましては、町民の皆様一人ひとりの声が大切です。誰もが住みやすく、誰もが活躍できるまちづくりに、引き続き職員と一丸となり、全力で行ってまいります。

本年が町民の皆様にとって、幸多くすばらしい一年となるようご祈念申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

